

多読クラブ会員の皆様へ

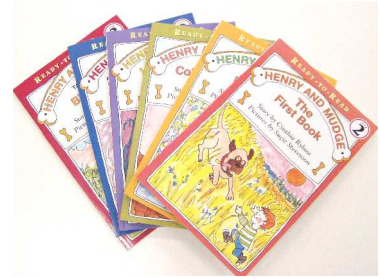
書籍追加のお知らせ（2006年10月）

Henry & Mudge シリーズに6冊追加です。これで同シリーズは計 18 冊になりました。

- Henry & Mudge, The First Book YL:1.2 総語数 800

実はこれがタイトルのごとくシリーズの第 1 巻。一人っ子で遊び相手のいない Henry の念願がかなって、犬を飼うことになります。やって来たのは Mudge。初めは小さな子犬だったのにどんどん大きくなって、180 ポンド(80Kg 以上)にもなりました。Henry と Mudge は大の仲良しで、ご飯も寝るときもいっしょ。学校へもいっしょに行きます。そんなある日、Henry の姿が見えなくなって… Henry と Mudge のあたたかい交流がほほえましい物語。

- Henry & Mudge, Big Test YL:1.2 総語数 900
- Henry & Mudge, Sparkle Days YL:1.2 総語数 800
- Henry & Mudge, Yellow Moon YL:1.2 総語数 900
- Henry & Mudge, Cold Shivers YL:1.2 総語数 700
- Henry & Mudge, Happy Cat YL:1.2 総語数 900



- Snow YL:0.5 総語数 160 (絵本) リクエスト本

空も屋根も街も Gray。そこにひとひらの雪。そして、ふたひらの雪。子どもは喜び、大人は気にも留めない。次第にリズムに乗って雪が舞い降りてきます。屋根や街の色の移り変わりを存分に楽しんでください。Caldecott Honor 受賞作。



おなじみの Zack File シリーズに No.17-22 の6冊追加。残りの8冊は 12 月頃の予定です。

- Yikes! Grandma's a Teenager YL:2.8 総語数 6700
- How I Fixed the Year 1000 Problem YL:2.8 総語数 6700
- The Boy Who Cried Bigfoot YL:2.7 総語数 6300
- How I Went from Bad to Verse YL:2.7 総語数 6300
- Don't Count on Dracula YL:2.8 総語数 6900
- This Body's Not Big Enough for Both of Us YL:2.7 総語数 6400



ご存知、ジブリ映画の「ハウルの動く城」のマンガです。これは今回後半の 2 巻が入って全 4 巻揃いました。アマゾンで検索していると Howl's Moving Castle の原作本がありました。書評を読むと「映画よりおもしろい」「映画より 2 倍、内容が濃い」「なぜ、いきなり婆さんにされてしまうのかわかる。。。」などなど、とても評判が良い。よっしゃー読んでみるかーと、SSS の書評で調べてみたら YL:7.6、総語数 82000。かなり気合が要りそうなので今回はやめておきます。

- Howl's Moving Castle 3 YL:1.2 総語数 2500
- Howl's Moving Castle 4 YL:1.2 総語数 2500



- 英語で名セリフ

「月に代わっておしおきよ!」「立て! 立つんだジョー!」「お前はもう死んでいる」etc. 誰でも知ってる決めセリフ、英語にすると、どうなる? 『機動戦士ガンダム』『水戸黄門』『太陽にほえろ!』などなど、名セリフ 60 本以上を収録。お笑いの決めセリフも、あの名セリフも登場します。日本語が多いので多読本ではありません。



●PM Library 230冊（貸し出し禁止扱い）

ニュージーランドの児童用LR(レベルリーダーズ)です。読みやすさレベル0.2~1.2あたりを中心に、様々なジャンルが混じっています。これらは来年の春まで、多読学会より貸し出しを受けている品なので、申し訳ありませんが教室内での利用に限定させていただきます。多読学会にいらっしゃったときに、受付またはヘンミまでお声をかけてください。語数の少ないものが中心ですので、面白そうなものだけをまとめて数十冊と読んでみてください。半年後には学会に返却します。



● Ice Wreck YL:2.5 総語数 4500（会員さんリクエスト本）

冒険ノンフィクション。冒険家のシャックルトンは南極大陸横断を計画したが、船が氷の海に閉じ込められて身動きが取れなくなった。全員が生きて帰るためにはどうすれば？



中学や高校の教科書ってというのは勉強するにはつまらないが、読み物としてはなかなか優れていると思います。自分が高校生の頃って、英語の教科書がおもしろいだなんて思ったことは一度も無いのだが、最近は出版社もいろいろ工夫しているのですね。高校生に興味をもってもらおうという努力が感じられる。難しい表現には注釈がついているのも便利。

読書の秋。今宵も Happy Reading! ヘンミ